

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立新浅香山小学校
校長 屋宮 雄一郎

≪中学校区におけるめざす子ども像≫ 「個性を伸ばすとともに、自らを律し他を思いやることのできる子」	≪五箇荘学校群の目標≫ 「自ら学びに向かい、自ら取り組み、自ら表現できる子どもの育成」
--	--

≪新浅香山小学校 令和6年度の重点目標≫	「よりよくしようと考える喜び、人の役に立つ喜び、表現する喜びを持つ児童の育成」
----------------------	---

「確かな学び」の現状 ・学校群の取組とリンクさせ、本校算数科研修では「考え表現する力を育てる算数科授業の創造」～言葉の力を高める言語活動の充実をめざして～を研修テーマとして深めていこうと考えている。 ・学習に向かう児童の関心・意欲は高く、学力調査においても選択問題や短答式の知識・理解に関しては平均値を上回っている。しかし、資料やデータなどをもとに様々な情報を読み取り、考えを深め、表現する力に課題が見られる。	「豊かな心・健やかな体」の現状 ・「自ら進んであいさつができる」「あなたは今、幸福ですか」と答える児童がともに85%を超え、学校生活の満足度は高い。しかし基本的な生活習慣の携帯電話の使い方や読書時間については課題が見られた。 ・新浅香っ子「7つの約束」を守ろうと努力する児童や「運動やスポーツをするのが好き」だと答えた児童が、ともに9割を超えているので、「早寝・早起き」「朝ごはんを毎日食べている」の項目を高めていきたい。
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組, ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況 (年度末)					
								自己評価	学校関係者評価				
確かな学び	学力の育成	自分で考えたことを表現する力を育成する。	●★言葉の力の育成を推進し、どの教科においても自分で考え交流する場面を数多く設定して、自分の言葉できちんと伝える力を育てる。	「ほかの人の考えを聞いたあと自分の考えを書いたり、発表したりしていますか」の肯定的回答が80%以上。	堺市学力状況調査	10月	◎	◎	「ほかの人の考えを聞いたあと自分の考えを書いたり、発表したりしていますか」のアンケート肯定的回答(4～6年)が74%であった。表現する力をさらに育んでいきたい。	◎	参観で授業の様子を見させてもらったが、子ども達は、先生や友だちの意見をよく聞いたあと、自分で考えて発表できる力が身につけてきている。		
	授業改善	ICTを活用した授業改善を行い、総合的な学力の向上を図る。	●★一人一台のタブレットを活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現する。	「勉強しているときに、わからないことがあるてもやり方を変えて、挑戦していますか」の肯定的回答が80%以上。	全国学力学習状況調査 堺市学力状況調査	10月	○	○	わからないことがある時に最後まで諦めずに挑戦している児童が多くいるが、つまづいている児童が、自分に合った学びができるように授業改善に取り組んでいきたい。	○	判断基準のアンケート結果が64%であった。分からないことをそのままにせず、自分に合った方法を児童自らが選択できるように授業改善に努めていきたい。	○	自分に合った方法を選択できるのは良いが、教育課程の内容としてやるが多すぎてスピードについていけないか疑問であり、もっと遊びの部分があってほしい。
		道徳年間指導計画をもとに、道徳的実践力を図る。	●道徳的判断力、心情、態度、意欲の向上を図り、道徳性の育成に努める。	「人が困っている時に進んで助けていますか」の肯定的回答が90%以上。	全国学力学習状況調査	10月	◎	○	困っている友だちに声をかけ、助け合う児童がほとんどである。	○	「人が困っている時に進んで助けていますか」の肯定的回答が92%であった。道徳性の育成に努め、実践できる児童を増やしたい。	○	人が困っている時に進んで助けている児童が多いようだが、できていない児童も増えてきているようなのでの育成に努めてほしい。
豊かな心 健やかな体	心の教育の充実	豊かな人権感覚の育成と規範意識の醸成	●「居場所・出番」のある教育活動で自分の良さを知り、自尊感情を育む。	「自分にはよいところがある」の肯定的回答が80%以上。	全国学力学習状況調査 堺市学力状況調査	10月	○	○	自分の居場所がある教育活動により、自分のよさを出すことができる。	○	「自分にはよいところがある」のアンケート肯定的回答が71%であった。一人ひとりの個性が認められ、教室が安心して過ごせる場所になるよう努めていきたい。	○	居心地の良い教室になるように先生方が取り組んでいると思うので、子ども達の努力を認めることに努めてほしい。
			登校時やいろいろな場面において、状況に応じたあいさつを自ら進んでできるように育成していく。	「自ら進んであいさつができる」の肯定的回答が85%以上。	学校教育アンケート	2月	◎	◎	登校時やいろいろな場面で自ら気持ちの良いあいさつができる児童が増えている。	○	「自ら進んであいさつができる」のアンケート肯定的回答が83%であった。学年間での差もあるので、学校全体であいさつの良さを職員・児童と共有していきたい。	◎	学校全体であいさつはよくできていると思うので、今後も取組を続けてほしい。
			いじめ防止基本方針に基づく対応をするとともに関係機関と連携する。	「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答が85%以上。 「あなたは今、幸福ですか」の肯定的回答が90%以上。	全国学力学習状況調査 学校教育アンケート	10月 2月	◎	◎	学校へ行くことが楽しく、幸せだと感じることもある児童が多い。多様性を認め合い、自他を尊重できる活動を続けたい。	○	判断基準のアンケート結果がともに81%であった。いじめなど児童の困っていることに気づくことができる教師、相談できる教師となるよう学校全体で取り組んでいきたい。	○	学校へ行くことが楽しいと思える工夫を続けてほしい。幸せとすることは学校だけでなく家庭も含め、その時の状況による。
	健やかな体	地域・各家庭と協力し、基本的な生活習慣を確立し心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。	「早寝・早起き」、「朝ごはん」を毎日続けられるように校報や保健だよりなどで啓発していく。また、日々の生活における幸福感を高める。	「早寝・早起き」の肯定的回答が80%以上。 「朝ごはんを毎日食べている」の肯定的回答が90%以上。	全国学力学習状況調査 学校教育アンケート	10月 2月	○	○	早寝・早起き、朝ごはんを毎日食べる習慣が身につけている家庭が多いので、食育、眼育をさらに推進していきたい。	△	「朝ごはんを毎日食べている」の肯定的回答が97%とほとんどの児童が食べている。しかし「早寝・早起き」の肯定的回答は53%とかなり低いので、早寝の習慣を啓発していくことで改善を期待できる。	○	朝ご飯を毎日、食べさせていることは脳や体を活性化させる上でも大変良いが、早く寝させることを家庭教育で努力していただきたい。
地域協働・学校群	信頼される学校	安心で安全な居場所をつくる。学校群の取組を周知し、協力体制を構築していく。	みんなが安心・安全に過ごせるように校内環境を整え、緊急の際の情報等を迅速に発信する。また、日ごろの教育活動をHPで掲載していく。	「ホームページなどで学校の情報をわかりやすく伝えている」の肯定的回答が90%以上。	学校教育アンケート	2月	○	◎	校内環境を整え、清潔さや安全を保ち、児童が安心して生活できるよう努めている。学校からの情報を迅速に分かりやすく発信している。	◎	「ホームページなどで学校の情報をわかりやすく伝えている」のアンケート肯定的回答が99%であった。学校からの情報を迅速に分かりやすく発信することを引き続き努めたい。また、校内環境を整え、児童が安心して生活できるよう努めていく。	◎	ホームページで学校の情報や子どもの様子がよく分かる。しかし、HPが新しい画面になり使いにくくなった。
			★学校群の取組を通して、小中連携や小小連携を進め、9年間を見通したカリキュラム改善に取り組む。	「校区の小学校と一緒に学習することは楽しい」「小学校と中学校の児童と生徒の交流があり、中学校に行くことが楽しみだ」の肯定的回答が85%以上。	学校教育アンケート	2月	○	○	3学期に3小学校の3年～5年の総合学習で遠隔合同授業を計画している。6年は3校で連合同練習を行い、連運前にお互い士気を高めることができた。	○	学校群の連携がより進んだ。アンケートの結果では取組を理解している児童は少なかった。アンケート実施時期が学校群交流会の実施前になるので、来年度は質問内容を変えようとした。	○	こども園、中学校との連携を通して、小学校や中学校に上がる前に、身につけなければいけない力を強化していったほしい。

校長より (年度末)
 今年度は、高学年の算数科において中学校と連携して自由進度学習に取り組んだ。「個別最適な学び」、児童にとっては「学びたいことを学ぶ」ことになり、個々の意欲の高まりが見られた。来年度は市の方針である「学びのコンパス」に向けて各教科において系統的に計画・実行していきたいと考えている。この教科学力を推進していくために欠かせない「心の教育」「健やかな体の育成」を育んでいくためには人権教育を教育活動の根幹として取り組まなければならない。そのためにも教職員全員で人権意識を高く持ち、教育活動すべてにおいて取り組んでいきたい。

学校関係者評価者から (年度末)
 子どもが寝ている横で大人がテレビを見ていると良質な睡眠にならない。想像力が欠如するので家庭の教育力を上げてほしい。展示している作品から各クラスで力を入れて指導していることが伝わり、毎回クオリティの高さに感動している。体力向上のための運動の取組を子ども達が楽しんでいることがとても良い。運動をするといいい人になると個人的に思うのでぜひとも運動を続けてほしい。